

板谷波山・神林コレクション初公開

# ふるさとへの贈り物



Celebrating the Genius of Itaya Hazan, the inaugural exhibition of the Kambayashi Collection

Gift to hometown



近代日本が生んだ  
陶芸界の巨匠

葆光青磁唐花彫紋花瓶  
大正8年頃

2018年

10月6日(土) ≫ 11月4日(日)

- ◇開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
- ◇休館日：毎週月曜日(ただし10月8日(月・祝日)に替え、9日(火)を休館日とする)
- ◇主催：筑西市教育委員会
- ◇後援：茨城県教育委員会/筑西市文化協議会/朝日新聞水戸総局/読売新聞水戸支局  
東京新聞水戸支局/産経新聞水戸支局/毎日新聞水戸支局/茨城新聞社  
NHK水戸放送局/茨城放送/筑西ケーブルテレビ
- ◇企画協力：一般財団法人波山先生記念会



彩磁桜草小花瓶  
明治末期～大正初期

板谷波山記念館



# 板谷波山・神林コレクション初公開

# ふるさとへの贈り物

鳩杖(磁製) 昭和25年

Celebrating the Genius of Itaya Hazan, the inaugural exhibition of the Kambayashi Collection

Gift to hometown

板谷波山の故郷である筑西市に、昨年、波山に関する素晴らしいコレクションが寄贈されました。

波山は、20世紀陶芸界の頂点に立つと評される巨匠で、昭和28年には工芸家として初の文化勲章を受章、昭和29年には日本画の横山大観とともに茨城県名誉県民の第一号となっています。

その波山作品を、茨城県土浦市の故・神林正雄 節子ご夫妻は、40年にわたって収集され、日本有数の波山コレクターとして知られていました。そして、昨年、ご夫妻の長女の渡辺政代さんが、陶芸作品32点を含む44点もの貴重なコレクションを、筑西市にプレゼントして下さいました。渡辺さんは、ご両親が生前語っていた「これらの作品をいつか波山先生が愛したふるさとにお戻ししたい」という想いを汲まれ、寄贈をご英断して下さいました。これで、筑西市の波山作品は、陶芸だけで60点を超え、全国でも指折りの波山コレクションとして充実するに至りました。

筑西市は、渡辺さんや故・神林正雄・節子ご夫妻への深い感謝をこめて、「板谷波山・神林コレクション初公開」展を、板谷波山記念館において、開催することに致しました。神林コレクションの全貌を初公開する今回の展観、どうぞお誘い合わせの上、ご来館下さい。



彩磁八ツ手葉文手焙  
明治末期～大正初期



仙桃文茶碗  
昭和20～30年代



糸巻デッサン 昭和20～30年代



鉄赭磁枇杷文花瓶  
大正後期



彩磁金魚文花瓶  
明治43年



青磁香爐  
昭和前期



彩磁百合文花瓶  
大正初期

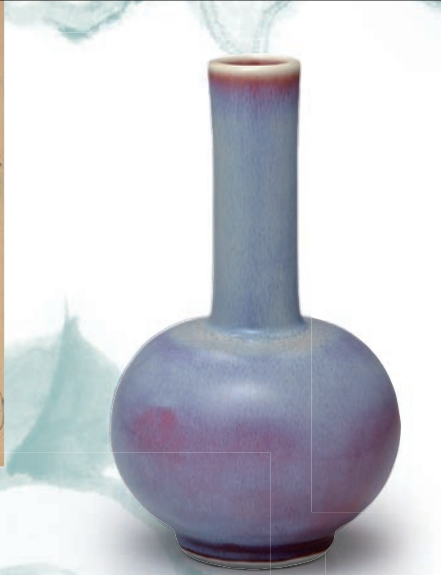


八ツ手葉花瓶  
大正8年頃





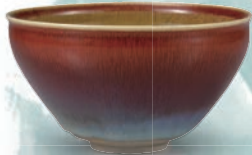
花瓶デッサン 明治30年代



窯変磁細首花瓶  
昭和前期



天目茶盃 (黒)  
昭和前期



天目茶盃 (紅)  
昭和20年代



彩磁椿文茶碗  
昭和38年



茶入 昭和20~30年代



茶葉磁仙寿文茶碗  
昭和33年頃



播座茶入  
昭和38年



白磁瓢形小花瓶  
明治末期



黒耀磁棗形花瓶  
大正前期



青磁砵鳳凰耳付花瓶  
大正9年



マジヨリカ写百合文皿  
(款玉蘭)  
明治末期



鳩杖 (鍍金)  
昭和20年代



いたや はざん  
板谷波山 (1872-1963)

やきものを愛好する人々は彼を陶聖と呼ぶ。明治5年(1872)に茨城県下館町(現・筑西市)に誕生した波山は、約60年間の作陶人生を歩み、20世紀陶芸界の頂点に立つとさえ評されます。平成14年(2002)には「ほこうさい じちん かもん かなびん葆光彩磁珍果文花瓶」(泉屋博古館分館蔵)が、近現代陶芸作品として初の国指定重要文化財に指定されました。波山陶芸の特徴は、東洋の古陶磁がもつ鋭く洗練された造形を骨格として、そこに19世紀末の西欧のアール・ヌーヴォースタイル、つまり優雅で官能的な装飾性を加えた、いわば東西の様式を見事に融合させたところにあります。

神林正雄・節子ご夫妻コレクション

茨城県土浦市で公認会計士を営み、土浦商工会議所会頭を務めた神林正雄さん、その妻の節子さんご夫妻は、40年にわたり、大好きだった波山の作品を収集し続けました。そのコレクションは、アール・ヌーヴォー調の彩磁作品、中国官窯スタイルの青磁や白磁、天目茶碗の逸品を集めた茶陶など、様々なスタイルを網羅し、国内でも著名な波山コレクションになりました。亡くなったご夫妻の長女である渡辺政代さんは、「このコレクションをいつか波山先生のふるさとお戻したい」というご両親の想いを汲まれ、平成29年(2017)筑西市にご寄贈下さいました。



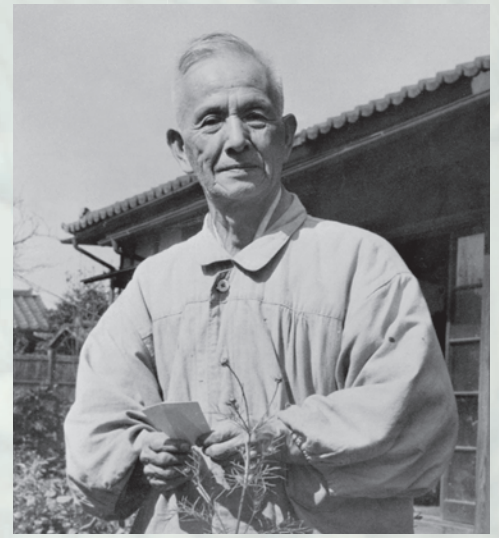
- JR水戸線/真岡線/TX→常総線  
下館駅下車 北口より徒歩10分
- 常磐自動車道谷和原ICから  
国道294号線で約40km
- 北関東自動車道・桜川筑西ICから  
国道50号線で約10km・真岡ICから  
国道408号線で約16km



鏽釉唐花彫紋花瓶  
大正11年



蛋壳磁香爐  
昭和20~30年代



関連イベント

◆ 週末の夕べは、波山記念館で

① 窯場で、波山の映画・番組鑑賞

- ・ 10月6日(土)、27日(土) 午後6時~午後8時  
映画「HAZAN」 監督:五十嵐 匠 キャスト:波山(榎木孝明)、妻 まる(南 果歩)
- ・ 10月20日(土) 11月3日(土) 午後6時~午後7時30分「波山を描く・最近の番組・昔の番組」

② 窯場で、波山講演会

- ・ 10月13日(土) 午後6時~「波山と住友コレクション」  
森下愛子さん(泉屋博古館分館学芸員)  
— 重要文化財「葆光彩磁珍果文花瓶」を蔵する住友財閥と波山をめぐる物語
- ・ 10月21日(日) 午後6時~「陶芸作品の収集鑑賞を楽しむ」  
黒田耕治さん(しぶや黒田陶苑)・荒川正明さん(学習院大学教授)  
— 渋谷の名店「しぶや黒田陶苑」の黒田さんに、作品を前にしてお話いただきます



◆ 波山生家で楽しむ茶会/波山の茶器に触れる

- ・ 10月14日(日) 午前10時~午後3時  
料金:800円 お抹茶・菓子付き(入館料は別)  
— 波山の生家でゆっくりお茶をいただきながら、波山作品に触れる体験

◆ 波山の陶片に触れる

- ・ 毎週水曜日・土曜日 午後1時~午後3時(ただし、10月10日(水)を除く)  
— 田端の波山窯跡から出土した宝石のような波山の陶片をご堪能ください

◆ 波山の「ふるさと」を歩く 案内人:一木 努さん(路上観察学会会員)

- ・ 10月10日(水)波山忌 午前9時~正午 事前申し込み要 集合場所:板谷波山記念館  
— 一木 努さんの名解説で、波山ゆかりの地を訪ねます。お楽しみに



天目茶盃(黄金)  
昭和19年頃

開館時間:午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日(ただし10月8日(月・祝日)に替え、9日(火)を休館日とする)

入館料:200円/高校生以下無料

- ※障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は入館無料
- ※しもだて美術館企画展半券提示にて割引あり

板谷波山記念館 Hazan Itaya Memorial Hall

住所:〒308-0021 茨城県筑西市甲866-1

TEL:0296-25-3830

<http://www.city.chikusei.lg.jp/data/hazan/top.html>

